

# 地域と

## 医療の

### 未来を考える

— 地域と医療の未来を考える

数字のおはなし

次は、医療についての20年前と今を比較しました。  
ここでは、一部抜粋して皆さんにお届けします。



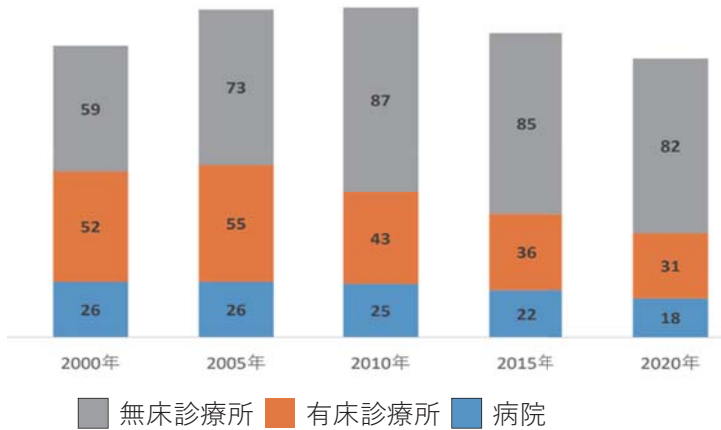
#### 地域医療の役割

- ・ 病気やケガの診断や治療・リハビリ（高度救急・急性期・回復期・慢性期）
- ・ 人間ドックやワクチン、予防接種など病気の予防
- ・ 家での療養のサポート（往診・訪問看護）
- ・ 施設の嘱託医（入所者の健康管理）
- ・ 学校・こども園の健診（学校医）など



医療には、病気やけがなどの診断・治療だけではなく、予防接種や健診といった病気の予防・健康管理等、様々な面で地域を支えています。  
先ほどの参加者目線での振り返りでは生活に様々な変化がありました。  
では、その地域を支える医療施設などの状況はどのようになっているのでしょうか。

地域の医療施設数の状況（肝属医療圏域）

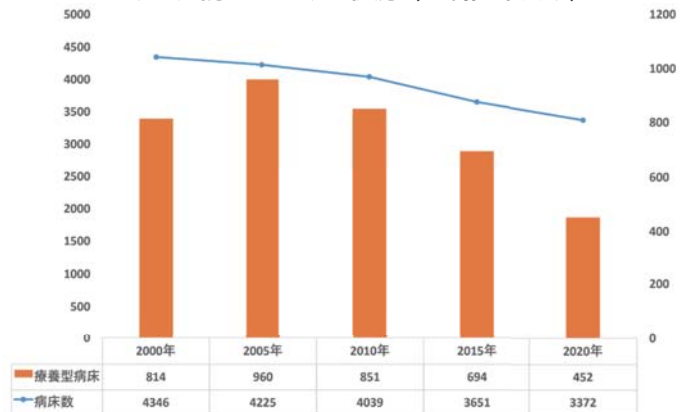


出典：厚生労働省 医療施設調査データより

#### 地域の医療施設の状況

肝属医療圏域（鹿屋市・垂水市・東串良町・錦江町・南大隅町・肝付町）での医療施設は、2000年から2020年を見てみると、入院施設を持たない無床診療所（クリニック・医院・歯医者等）は増えているものの、入院施設を持つ病院や有床診療所が減り、医療施設数は全体的に減っています。

地域の入院ベット数の状況（肝属医療圏域）



出典：厚生労働省 医療施設調査データより

また、無床診療所が増え、有床診療所・病院が減ったことにより、入院ベット数は2000年から約1000床減っています。  
その内、長期にリハビリしながら入院する専用のベットは、一番多い2005年と2020年を比較すると、半分以下になっています。